湯沢CS通信

令和8年9月16日　第98号
（発行）湯沢市教育委員会
学校教育課　CS担当

湯沢東小・北中　合同防災教室　開催

9月1日の「防災の日」に合わせて、湯沢東小学校と湯沢北中学校では「小中合同防災教室」を開催しました。この防災教室は昨年と同様、今年も学校運営協議会委員の皆様の協力を得まして開催されました。詳細について紹介します。



小中合同防災教室

「その時、自分にできること
～体験を通して学ぼう！～」

日　時　9月1日（火）　8時30分～14時
参加者　小学生361名、中学生232名
協　力　JRC秋田支部、湯沢市総合防災室
湯沢市防災士、湯沢消防署、セフティ
湯沢市家庭支援チーム、学校運営協議会
保護者、地域住民
内　容
・小中合同　避難訓練（火災を想定）
・小中合同　地域を知る会（10地区に分かれて、災害の危険性について確認）
・煙体験、消防車乗車体験（小1・2・5年）
・防災グッズ製作（小1～5年）
・防災マスター学習（小1・2年）
・通報訓練（小3・4年）
・クロスロード（小3・4年）
・救急救命法講習（小5年）
・テントベッド設営体験（小6年、中2年）
・トークフォークダンス（中1年）
・避難所ゲーム（中3年）

振り返りフォームから（参加者の感想や意見等）

・地域とつながるよい事業であると感じた。
・関係機関や地域を巻き込み、9年かけて防災を学ぶ体制に感銘を受けた。
・中学生が小学生をリードする姿勢や、小・中学校と地域が集って避難手順を確認し、「顔の見える関係」を構築できたことは、地域の防災力を高める大きな一歩であると評価できる。
・今後も「命を守る」教育や体験を実施してほしい。
・訓練内容や全体の流れ、事前の準備、予定通りの進行はどれもよかった。
・地域の自主防災会が進める「緊急時一時集合場所」の周知を小・中学生に行うことができたため、今後も自主防災会の参加機会を得られるとよい。
・各学年の防災教室に関して、本番直前の関係者間（消防、家庭支援チーム、教員）での擦り合わせで少し戸惑いがあったため、事前に担当者間で認識合わせを行うとスムーズになるのではないか。



地域を知る会



テントベッド設営体験

全国コミュニティ・スクール研究大会 in 京都

地域とともにある学校づくり推進フォーラム2026京都

学びの輪、地域の和、未来へ繋ぐ
Community School

学校を核とした子どもの成長と
地域の活力の好循環を生み出す
コミュニティ・スクールへの挑戦

参加無料
FREE ENTRY



学校をひらく。共創の場へ。

2026年
11月14日(土) 10:00-16:00

会場 **国立京都国際会館**
〒606-0001 京都府京都市左京区岩倉大鷺町422

アクセス
- 地下鉄烏丸線「国際会館駅」から徒歩5分
- 京都市バス・京都バス「国際会館駅前」から徒歩5分

定員 分科会1／120名　分科会2／80名
分科会3／180名　分科会4／120名
※定員になり次第締め切ります(先着順)

学校管理職・教職員、行政職員、学校運営協議会委員、
地域学校協働活動推進員、地域コーディネーター、学校評議員、
学校支援ボランティア、保護者、地域住民・自治会・PTA・企業団体等の
活動に関わる全ての方

オンライン参加可
参加申込は
こちらから

申込締切 11月9日(月)

〈主催〉全国コミュニティ・スクール連絡協議会、文部科学省、京都市教育委員会

PROGRAM



学校をひらく。共創の場へ。

全国でコミュニティ・スクールの導入が進み、地域と学校が連携・協働する体制整備が広がる一方、取組の形骸化や担い手不足、学校統廃合などの課題も顕在化しています。こうした中、子どもの成長と地域の活力の好循環を図るため、地域・学校による「共創」の場として、コミュニティ・スクールの役割は重要性を増しています。京都市では、「地域の子どもは地域で育てる」の理念の下、法制化以前から取組を進め、新たに「学校の中に、まちをつくる。」をキーワードに、学校を核とした大人も子どもも学び合う地域づくりを推進しています。本大会では、全国の先進事例や京都市の実践を踏まえ、コミュニティ・スクールの次なるステージ「学校をひらいた、その先」を展望し、次の一手をともに探ります。

10:00〜10:15

オープニングパフォーマンス　Main Hall



- 能楽「大連吟」
  京都能楽会所属の能楽師の皆様＋小・中学生

  能楽師 松野 浩行氏による指導の下、「謡」の稽古に取り組んだ小・中学生が、能楽師と共に、謡「高砂」を披露します。

10:15〜10:35

開会式　Main Hall



- 主催者代表挨拶
- 来賓代表挨拶・紹介

10:35〜10:50

行政説明　Main Hall

- 文部科学省地域学習推進課

10:55〜12:20

パネルディスカッション　Main Hall

テーマ　学校をひらいた先に、何が生まれるのか。
—共創で生み出す子どもの成長と地域の活力の好循環—

パネリスト



石井 英真
京都大学教授・京都市教育委員



南郷 市兵
福島県立いわき総合高等学校校長



平岩 国泰
放課後NPOアフタースクール
代表理事



稲田 新吾
京都市教育長・全国コミュニティ・スクール
連絡協議会会長

12:20〜13:20

昼休憩

昼食は、各自、持ち込みいただくか、席が限られておりますが、
館内レストラン（事前予約不可・100席程度）がございます。
なお、持ち込みの場合は、Main Hallのみ飲食可能です。

13:20〜15:30（共通）

分科会1　Room E　定員 120名

テーマ　学校を核とした「子どもの成長」と「地域の活力」の好循環を生み出すために
—「コミュニティ・スクール」から「スクール・コミュニティ」へ—
発表者　京都市立安朱小学校 校長／河野 由佳
和歌山県橋本市教育委員会 教育長／今田 実
助言者　文部科学省CSマイスター（ゆめ☆まなびネット代表）／大谷 裕美子

分科会2　Room C-2　定員 80名

テーマ　若年世代とともに進めるコミュニティ・スクールの推進
—次世代への貢献の循環をつくる—
発表者　CSユースリーダー・京都市教育委員会



分科会3　Room D　定員 180名

テーマ　形骸化からの脱却
—コミュニティ・スクールの本質に立ち返って学校運営を考える—
発表者
[熟議]　・京都市立新町小学校
校長／岸本 直樹
学校運営協議会 会長／森 徹
創立30周年記念事業実行委員会 委員長／藤原 信生
・門真市立水桜学園
校長／鈴木 貴雄
[当事者意識]・京都市立西総合支援学校
校長／清水 美穂子
・京都府立北稜高等学校
校長／竹林 祥子
[働き方改革]・京都市立常磐野小学校 校長／小西 英生
・三鷹市教育委員会地域学校協働課 課長／越 政樹
三鷹市統括スクール・コミュニティ推進員／倉田 清子
助言者　文部科学省CSマイスター（愛知教育大学教授）／風岡 治



分科会4　Room B-1　定員 120名

テーマ　学校統合を地域の力に変える
—コミュニティ・スクールが創る新しい学びと地域の未来—
発表者　京都市立開晴小中学校 校長／上野 政弘
高知市立義務教育学校土佐山学舎 校長／福井 佳織
助言者　文部科学省CSマイスター（大阪府千早赤阪村教育長）／大門 和喜

15:40〜16:00

閉会式　Main Hall

- 万が一の事情により、イベントが中止またはプログラム内容が変更となる場合は、大会公式HP等にてお知らせします。
- 本大会の様子を撮影・録画・配信しますので、予めご了承ください。
- ご来場の際は、公共交通機関等をご利用いただきますようお願いします。会場周辺の駐車スペースには限りがありますので、ご協力をお願いします。

連日開催　**『小中一貫教育全国サミットin京都』**

日程　2026年11月13日（金）
会場　京都市立東山泉小中学校、
京都市立桃陵中学校＋伏見南浜小学校
テーマ　つながりが育む、可能性を最大限に伸ばす学び
〜学びの主体は子ども〜

大会公式HP

お問い合わせ　全国コミュニティ・スクール研究大会in京都 事務局
電話：075-251-0456　メールアドレス：gakkochiiki@edu.city.kyoto.jp

大会の詳細はこちら　後日、大会の様子をまとめたアーカイブ動画についても、公開予定です。　大会公式HP▶

後援　全国知事会、全国市長会、全国町村会、全国都道府県教育委員会連合会、全国市町村教育委員会連合会、指定都市教育委員会協議会、全国都市教育長協議会、中核市教育長会
全国町村教育長会、公益社団法人日本PTA全国協議会、一般社団法人全国高等学校PTA連合会、公益社団法人全国子ども会連合会、京都府教育委員会、京都市PTA連絡協議会